

Jenimo Ver. 3.0  
2024年最新機種

---

# 取扱御説明書





Before Installing or Operating this equipment, please read these instructions carefully, and keep near the device for future reference.

### **メーカーの免責事項**

ここのドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります、ベンダー側の責任を表すものではありません。このドキュメントの特定の目的に対する品質、正確性、または適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証 または表明も行われません。いかなる場合も、製造者または認定販売業者は、この製品またはドキュメントの使用または使用不能に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、結果的な損失または損害について、そのような損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

# 目次

|  |    |
|--|----|
| <b>第 1 章 IPL&amp;SHR&amp;E-light 機器の紹介</b> ..... | 5  |
| 1.1 治療の原理.....                                   | 5  |
| 1.2 デバイス構造.....                                  | 5  |
| <b>第 2 章安全性とコンプライアンス</b> .....                   | 7  |
| 2.1 クライアントの安全.....                               | 7  |
| 2.2 ビーム反射.....                                   | 7  |
| 2.3 安全上の注意.....                                  | 7  |
| 2.4 電気の安全性.....                                  | 7  |
| 2.5 防火.....                                      | 7  |
| <b>第 3 章インストール手順</b> .....                       | 8  |
| 3.1 アクセサリリスト.....                                | 8  |
| 3.2 設置条件.....                                    | 9  |
| 3.3 ハンドルの取り付け.....                               | 9  |
| 3.4 冷却水タンクへの充填.....                              | 10 |
| 3.4.1 マシンの背面.....                                | 10 |
| 3.4.2 冷却水を注入する手順.....                            | 11 |
| 3.5 電源の接続.....                                   | 12 |
| 3.6 電気漏れ保護.....                                  | 12 |
| <b>第 4 章操作手順</b> .....                           | 13 |
| 4.1 オペレーターの条件.....                               | 13 |
| 4.2 安全な操作.....                                   | 13 |
| 4.3 試験.....                                      | 13 |
| 4.4 特定の機能.....                                   | 13 |
| 4.5 画面操作.....                                    | 14 |
| 4.5.1SHR モード.....                                | 15 |
| 4.5.2IPL モード.....                                | 16 |
| 4.5.3E-light モード.....                            | 17 |
| 4.6 治療操作.....                                    | 18 |
| <b>第 5 章機械の操作</b> .....                          | 19 |
| 5.1 治療知識.....                                    | 19 |
| 5.2 治療後の注意事項.....                                | 19 |
| 5.3 臨床症状.....                                    | 19 |
| 5.4 治療できない対象.....                                | 20 |

|   |    |
|---|----|
| <b>第 6 章 IPL&amp;SHR&amp;E-light マシンのメンテナンス</b> ..... | 21 |
| 6.1 一般的なクリーニング.....                                   | 21 |
| 6.2 電気漏れ保護のテスト.....                                   | 21 |
| 6.3 定期的な冷却水の交換.....                                   | 22 |
| 6.4 輸送、保管、移動.....                                     | 22 |
| 6.5 トラブルシューティングガイド.....                               | 23 |
| 6.5.1 マシンが起動しない.....                                  | 23 |
| 6.5.2 機械を始動したときの水循環が異常である.....                        | 23 |
| 6.5.3 ボタンを押してもビーム出力はありません.....                        | 23 |
| 6.5.4 エネルギーが弱くなるか、出てくる光がない.....                       | 23 |
| 6.5.5 機械に触れると感電する恐れがあります.....                         | 23 |
| 6.5.6 予熱キーを押しても音はありません.....                           | 23 |
| <b>お問い合わせ</b> .....                                   | 24 |

# 第1章-IPL&SHR&E-lightマシンの紹介

## 1.1治療の原則

### IPL

IPLとは“インテンス・パルス・ライト”の略であり、キセノンランプをごく短い時間発光させた光です。IPL脱毛はカメラのフラッシュのように光をピカッと照射することからフラッシュ脱毛とも呼ばれています。

IPL脱毛で使われる光は、有害な紫外線がカットされており、波長の幅が広いという特徴があります。

IPL脱毛は、脱毛サロンでもっともポピュラーな方法として利用されている脱毛方法です。

IPL脱毛の光は毛のメラニン(黒い部分)に対して作用する性質があり、照射すると黒い毛包や毛根、その元にある毛乳頭に熱を与えることができます。熱を与えられた毛根はたんぱく質が変性してしまい、次の毛の生成がうまくいきません。

IPL脱毛では照射後すぐに変化は現れませんが、その後の発毛が抑えられているため徐々に毛が少なくなっていくます。

### SHR

SHRとは“スーパーヘアーリムーバル”の略であり、SHR(蓄熱式脱毛)とは、発毛を促す毛包(バルジ領域)へアプローチする脱毛方法のこと。

弱い光で60~70℃ほどの熱を毛包に蓄積させて、毛を作る司令を出す「バルジ領域」という器官へダメージを与えます。

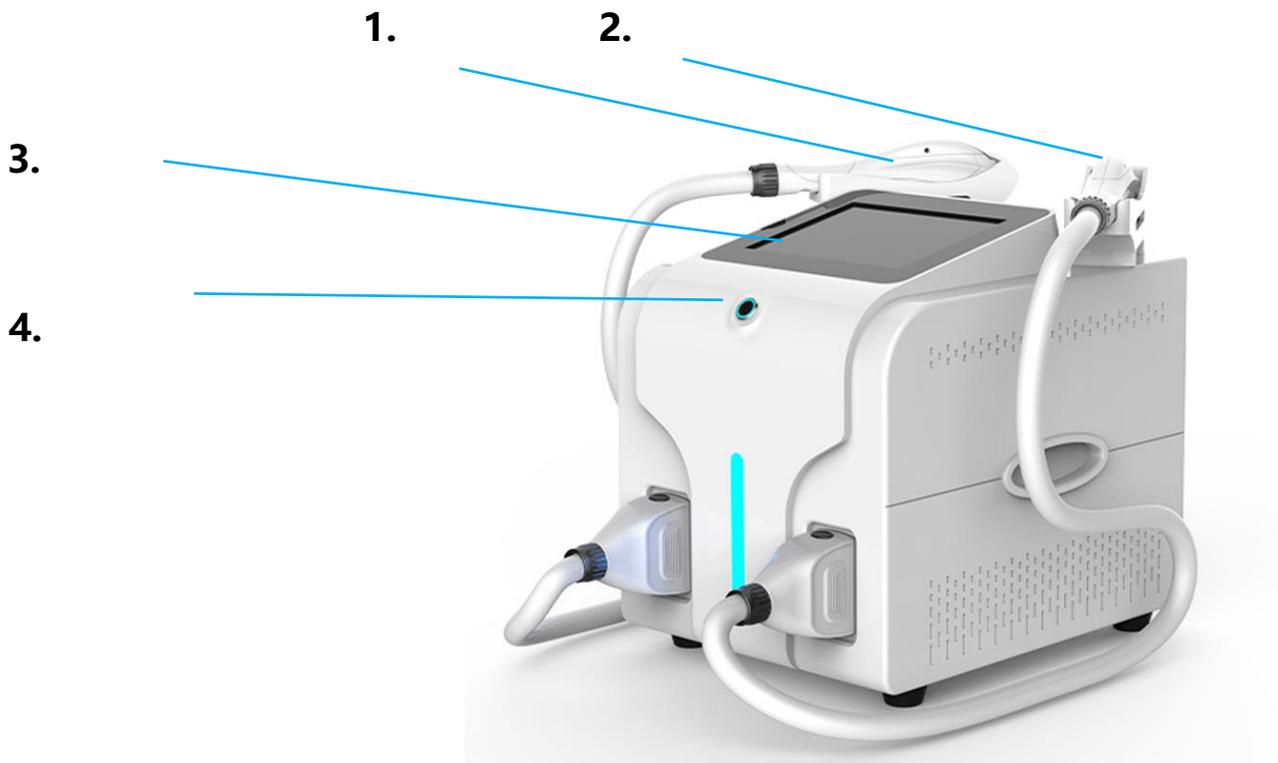
### E-light

Eライトとは、IPL(光エネルギー)とRF(高周波)のダブルのアプローチでシミ、くすみ、毛穴、小じわ、赤ら顔などを改善できるフォトRFの最上位機種です。IPLは、光エネルギーが熱に変わることによりメラニン色素にダメージを与え、肌のくすみや薄いシミを改善していきます。しかし、IPLでは肌の奥まで光エネルギーが届きません。肌の奥まで伝えようと照射出力をあげてしまうと、メラニン色素に反応し過ぎてしまいかえってヤケドになったり、強い痛みを伴います。

そこで、より深部に到達できるRFを組み合わせることで、肌のより奥の真皮層に熱エネルギーを伝えることが可能になりました。RFエネルギーは表皮のメラニン色素に妨げられずに真皮に到達するため、効率的に良質なコラーゲン、エラスチンが生成されハリが出て、たるみ、小じわにダイレクトにアプローチできます。

## 1.2デバイス構造

機械構造は次のユニットで構成されています。





|  |   |
|--|---|
| <p>1. SHRハンドピース<br/> 2. IPL/E-lightハンドピース<br/> 3. タッチスクリーン<br/> 4. スイッチ<br/> 5. 安全装置</p> | <p>6. フットスイッチ<br/> 7. 電源コネクタ<br/> 8. 満水時の排水口<br/> 9. 給水口兼ね排水口</p> |
|--|---|

## 第2章-安全性とコンプライアンス

### 2.1クライアントの安全

クライアントの安全は、主によく訓練されたオペレーター、クライアントの相談、正しい皮膚分析、および適切な治療室によって確立されます。担当オペレーターは、このデバイスを使用する際のすべてのリスクをクライアントに通知する必要があります。クライアントは、治療中に目を保護するために、保護メガネなどを着用するように指示する必要があります。

### 2.2ビーム反射

危険につながる可能性のある光の反射を回避するために、次の最小限の対策を講じることをお勧めします。

- ◆窓やシャッターは無反射である必要があり、高出力の光を使用する場合は防火が必要になる場合があります。
- ◆壁、天井、付属品は、鏡面反射を減らすために、明るい色のマットペイントで塗装する必要があります。
- ◆ガラス付きのキャビネットなど、反射面の使用は避けてください。
- ◆必要に応じて反射面を必ず覆ってください。
- ◆機械の周りは清潔に保ってください。アクセサリや時計などを取り外します。
- ◆施術室の照明は、オペレーターが皮膚の反応を観察できる程度の明るさが必要です。

### 2.3安全上の注意

- ◆ハンドルを掃除するときは、必ず電源を切ってください。
- ◆治療しない部分には絶対に光を当てないでください。

### 2.4電気の安全性

安全に使用するために、オペレーティングシステムの定格電圧は220V、最大入力電流は10A または110V、最大入力電流は15Aです。本機には安全装置が装備されています。電気漏れが発生すると、機械は自動的に停止します。

### 2.5防火

◆ライトデバイスは熱エネルギーを生成します。デバイスの近くでアセトンやアルコールなどの可燃物を使用しないでください。

◆アルコールベースの製品を使用してデバイスを消毒する場合は、操作前にアルコールが完全に蒸発していることを確認してください。

- ◆可燃性および爆発性の物体、麻酔薬、薬物、アルコール、ガスなどは、治療室から取り除く必要があります。

## 第3章-インストール手順

インストールのプロセスは次のとおりです。

- ◆デバイスの開封と内容の確認。
- ◆部品を組み立て、すべての接続がしっかりと固定されていることを確認します。
- ◆水タンクには精製水のみを入れてください。
- ◆電源ケーブルを接続します。
- ◆デバイスの電源を入れ、システムのすべての機能/パラメータをテストします。

### 3.1 アクセサリリスト

ユニットを開封し、すべての梱包材を取り除き、損傷がないか確認します。

ユニットが損傷している場合は、取り付けを続行しないでください。



|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. レーザーメガネ        | 5. 電源ケーブル          |
| <del>2. キー</del>  | 6. ゴーグル            |
| <del>3. リング</del> | <del>7. ヒューズ</del> |
| 4. じょうごとチューブ      |                    |

**重要な注意:** 安全な保管のため、および保証、返品の場合に備えて、すべてのパッケージを保管してください。  
許可なく機械を開け、分解をすることは禁じられています。

### 3.2設置条件

以下の条件に従って機器を設置します。

- ◆治療室温: 10°C~30°C
- ◆相対湿度: ≤75%
- ◆空気圧: 860-1060hpa
- ◆所要電力: AC220v±10%; 50Hz±2%; AC110v±10%; 50/60Hz±2%
- ◆水: 精製水

### 3.3ハンドルの取り付け

ハンドルを取り付ける際の画像です。



矢印で示されているように、ハンドルとコネクタの位置を合わせます。

AハンドルはAコネクターとしっかり接続します

BハンドルはBコネクターとしっかり接続します

### 3.4冷却水タンクへの充填



**CAUTION:** Operating machine when the water tank has no water or has not enough water is absolutely prohibited!

#### 3.4.1マシンの背面

機械の背面の写真



5. 安全装置-主電源スイッチです。
7. 電源コネクタ-主電源ケーブルはここに接続します。
8. 満水時の排水口-タンクが満タンの際に余分な水が出てきます。
9. 給水口-ホースを給水口に取り付けて、機械に水を充填します。
9. 交換時の排水口-機械を空にするときに水が出てきます。



**CAUTION:** Only use distilled, de-ionised or pure water in this device, DO NOT use tap or bottled drinking water

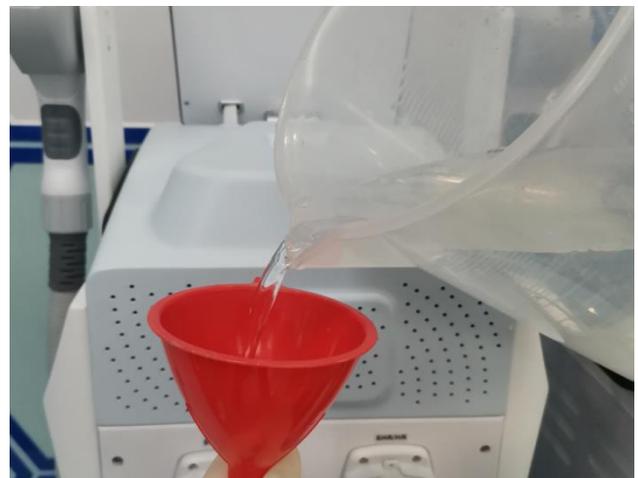
通常の水には不純物があるため、精製水をお勧めします。通常の水を使用すると、以下のような問題が発生します。

- ◆水道管が詰まる危険性があります。
- ◆ハンドルの破損の可能性がありま。
- ◆エネルギーを低下させます。
- ◆すべての保証を無効とします。

### 3.4.2冷却水を注入する手順



**ステップ1。** 満水時の排水口のキャップを外し、排水口の下に水容器を置きます。



**ステップ2。** ホースの柔らかい方の端を給水口に接続し、水を機械に注ぎます。精製水をじょうごに慎重に注ぎます。じょうごを機械の上に持ち上げると、注入しやすいです。



ステップ3。水は排水口から流れ出ます。これは、タンクは満水であることを意味します。



ステップ4。給水口と排水口のキャップを締めます。

### 3.5電源を接続します



電源コネクターの一方を機械の背面に接続し、もう一方を主電源コンセントに挿入します。

### 3.6安全装置



オフ



オン

電源コネクターが接続されたら、安全装置を上げると、機械が使用できます。

**注意:** 機械の電源がオンになったら、水が5分間循環させてから、予備燃焼モードに入ってください。

# 第4章-操作手順

## 4.1オペレーターの条件

◆オペレーターは、機械を使用するために必要な専門知識を有し、地域および国の法律に遵守し、訓練する必要があります。

- ◆専門知識の修得。
- ◆公的責任、内容および治療リスクなどに対する保険に加入してください。

## 4.2安全な操作

装置を操作するときは、施術室が清潔であることを確認してください。

- ◆施術室の照明は、オペレーターが皮膚の反応を観察できる程度の明るさが必要です。
- ◆機械を使用している間は、反射するものを使用しないでください。
- ◆オペレーターは、治療前に十分な相談を行い、クライアントの病気や症状について理解し、施術中および施術後の正常な反応を説明する必要があります。
- ◆オペレーターは、施術しない部位に照射しません。
- ◆オペレーターは、治療に使用される特定の治療波長に適したゴーグルまたはメガネでクライアントの目を適切に保護してください。

## 4.3検査

設置手順と要件に従って設置されていることを確認してください。水位が正常で、作業環境が適切であることを確認してください。

## 4.4特定の機能

機能の異なる3つのモードがあります。



## SHR

このモードは、主に迅速な脱毛治療のために、脱毛と肌の若返りに使用できます。スライド操作は、比較的穏やかなエネルギーで広範囲に使用されます。

## IPL

このモードは、主に肌の若返りのために、脱毛と肌の若返りに使用できます。さまざまな部分や狭範囲を対象とした単発治療の使用は、SHRモードより多くのエネルギーを使用し、その効果は顕著です。

## E-light

このモードは、主に肌の若返りとリフトのために使用できます。IPLモードの若返り治療と組み合わせて使用すると、顔を持ち上げて引き締める事ができます。

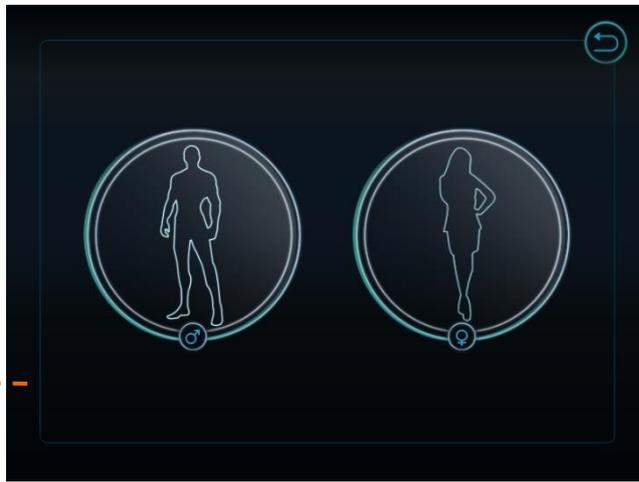
## 4.5画面操作

機器の電源を入れて、ロゴ画面を押してから、次の操作画面が表示されます (図1)。



(Pic1)

性別  
選択



(Pic2)

最初画面 (Pic1) をクリックして、3つの治療モード選択 (Pic2) の画面に入ります。  
治療モードを選択し、性別を設定し、次の操作画面に入ります。

#### 4.5.1SHRモード (左ハンドピース)

お客様のニーズに応じていずれかを選択し、設定画面に入ります。

SHRを選択すると、( Pic3またはPic4) のような画面が表示されます。

次に、体の部分を選択すると、推奨とするパラメーターが表示されます。お客様によって、調整は必要ですの

で、適宜数値は変更してください。パラメーターを設定してから  をクリックして、 をクリックし、施術を開始します。



(Pic3)



(Pic4)



(Pic5)

IPLを選択すると、次の操作画面が表示されます (Pic6)。(右ハンドピース)



(Pic6)

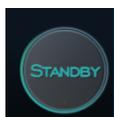


クリックすることでエネルギーを増減します。

それぞれのモード (脱毛、シワ、赤ら顔、ニキビ、シミ、美白) に合わせたフィルターを使用する必要があります。(別紙参照)



お客様によって、調整は必要ですので、適宜数値は変更してください。パラメーターを設定してから



をクリックして、をクリックし、施術を開始します。

#### 4.5.2E-lightモード（右ハンドピース）

ここではE-lightを選択すると、次の操作画面が表示されます（Pic6）。（右ハンドピース）E-lightはIPLにRF（皮膚の引き締め）の機能を付け足したものです。RFは多少の痛みを伴うことがあります。

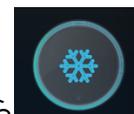


(Pic7)



クリックすることでエネルギーを増減します。

それぞれのモード（脱毛、シワ、赤ら顔、ニキビ、シミ、美白）に合わせたフィルターを使用する必要があります。（別紙参照）



お客様によって、調整は必要ですので、適宜数値は変更してください。パラメーターを設定してから



をクリックして、をクリックし、施術を開始します。

## 4.6治療操作

### ステップ1. 治療の準備

◆お客様とのコミュニケーションを十分に行います。ゲストのニーズ、体調（注射の有無、ホルモンを含むスキンケア製品の使用の有無、日焼けの状態）を理解し、写真を撮り、顧客情報ファイルに記入します。

- ◆機器が正常に機能しているか確認し、治療前に照射口を清掃してください。
- ◆治療中は多少の痛みなどが感じられることをクライアントに説明します。

### ステップ2. 肌をきれいにし、ゲスト用のゴーグルを着用してください

- ◆施術エリアをタオルと生理食塩水で洗浄し、表面に化粧がないことを確認します。
- ◆施術エリアの毛を剃ります。
- ◆ゲスト用のゴーグルを着用してもらいます。

### ステップ3. マシンの電源を入れて、実験スポットを実行します

◆本機の電源を入れ、必要なモードを選択してパラメータを調整します。治療項目に応じて計測器のパラメータを調整してください。パラメータを調整した後、地面に1つまたは2つの光点を放出します（機器が高エネルギーから低エネルギーに下げられたときに、高エネルギーが放出される場所がなく、直接使用すると高エネルギーが皮膚に照射されます）、次に顧客の顎または耳の後ろでそれをテストし、皮膚の反応を確認するために1～2分待ってから、操作を続行してパラメータを調整するかどうかを決定します。

**注意:** 推奨されるパラメーターはあくまでも参考です。エネルギーはお客様反応に応じて調整してください。

# 第5章-機械の操作

## 5.1 治療に関する通知

### 治療前

◆お客様とのコミュニケーションを十分に行い、お客様のニーズや体調を把握する。注射、ホルモンを含むスキンケア製品が使用されているかどうか、確認してください。日焼けの状態など写真を撮り、顧客情報ファイルに記入してください。

- ◆機器が正常に機能しているかどうかを確認し、治療前に照射口を清掃してください。
- ◆治療中に多少痛みなどがあることを説明してください。

### 治療中

- ◆手術部位にジェルを均等に塗る必要があります。
- ◆オペレーターもお客様もメガネをかける必要があります。
- ◆ハンドルの照射口は肌にやさしく密着し、常に垂直に保ちます（皮膚に対して傾けると、エネルギーが表皮に集中しやすくなり、燃えやすくなります）。
- ◆面積や治療項目に応じて、スライディングまたは単発治療を選択してください（スライディング治療は広面積の脱毛、単発治療は小面積の脱毛、肌の若返り、そばかす、ニキビなどにおすすめです。）
- ◆手術中は、クライアントの肌の反応に常に気を配り、治療を調整してください。
- ◆治療過程でのクライアントの感覚を聞き、時間通りに施術を行います。

### 治療後

- ◆ボディークリームなどを用いて、適切にケアします。
- ◆治療後の注意事項を説明し、次回の治療日時の予約をしてください。
- ◆機器の電源を切り、ゲストが使用したパラメータを記録します。

## 5.2 治療後の注意事項

- ◆施術翌日は施術エリアに熱湯を使わず、温水または冷水を使用してください。
- ◆1週間以内に温泉やサウナにいたり、施術部位をこすったりしないでください。
- ◆辛いもの、魚介類、感光性のあるものを3日以内は食べないでください。
- ◆肌の若返りとそばかすの治療後、大量の水を補給する必要があります。ボディークリームなどは1週間継続して使用し、機能性のものは使用しないでください。
- ◆日焼けに注意してください：治療後、メラニンの代謝が促進されます、メラニンはより活性が高く、色素沈着を引き起こしやすいです。
- ◆施術後にかさぶたがある場合は、色素沈着を防ぐため、かさぶたを自然に落としてください。
- ◆治療後に手術部位が赤くなった場合は、氷で冷やし、必要に応じてジェルなどを塗布してください。
- ◆炎症反応が起こった場合は、クリームなどのケア製品を塗って下さい。

## 5.3 治療中の症状

- ◆脱毛：産毛はやや熱く、縮れなどがあり、チクツとするような痛みがあります

◆そばかすの除去：わずかな熱、チクツとするような痛み、そして皮膚は赤みがかっています。斑点が濃くなり、かさぶたになります。

◆赤ら顔の改善：わずかな熱、チクツとするような痛み、そして皮膚は赤みがかっています。毛細血管の血流が鈍くなり、色が濃くなります。

◆肌の若返りとニキビ除去：手術中はやや熱く、チクツとするような痛み、そして皮膚は赤みがかっています。

## 5.4治療できない対象

◆妊娠中および授乳中の方。

◆過去1週間以内に日光にさらされた方。

◆手術部位に重大な怪我及び感染症のある方。

◆最近、光増感薬を服用したり、光にアレルギーのある方。

◆重度の瘢痕体質（増殖性瘢痕体質）。

◆上まぶたや唇への治療。

◆皮膚病（乾癬、白斑など）に苦しんでいる方。

◆アレルギーのある方。

◆てんかん患者、重度の心臓病患者、糖尿病患者、高血圧患者。

◆機能性製品をお使いの方は、1ヶ月間使用を中止してからご使用ください。治療期間中は機能性製品を使用できません。

◆1ヶ月以内にマイクロインジェクションを受けた方は、注射部位を避けてください。

## 第6章-IPL&SHR&E-lightマシンのメンテナンス

安全で信頼性の高い操作を保証するため、定期的なメンテナンスと適切なケアが非常に重要です。このセクションでは、オペレーターが行うべき機械の日常およびその他の定期的なメンテナンスについて説明します。

### 6.1一般的なクリーニング

装置の外側は、湿らせた柔らかい布またはマイクロファイバーの布で定期的に清掃してください。中性洗剤やアルコールフリーのおしりふきを使用することもできます。使用後は定期的に照射口を清掃してください。



治療後に照射口にカーボンが蓄積する可能性があるため、週に1回、またはカーボンフェイシャル中やその後など、必要に応じてクリーニングする必要があります。

照射口には、常に汚れや付着物がないようにする必要があります。



**警告！**

**機械開放中に出力レンズをチェックして清掃することは固く禁じられています！**

### 6.2漏れ保護をテストする

この製品には、安全装置が装備されています。安全装置が有効かどうかを毎月テストする必要があります。安全装置のボタンを押し、作動している場合は問題がないことを意味します。



### 6.3 定期的な冷却水の交換が必要です

水の交換の頻度は、稼働によって異なります。

- ◆機械が毎日稼働している場合は、1か月ごとに水を交換する必要があります。
- ◆機械が週に1〜2回稼働する場合は、2か月ごとに水を交換する必要があります。
- ◆機械の使用の有無にかかわらず、冷却水は年に1回交換する必要があります。
- ◆水を交換した後、5分間水を正常に循環させる必要があります。
- ◆施術室の温度が2°C未満の場合は、装置内のすべての冷却水を排出し、新しい冷却水と交換する必要があります。

**注意:** このデバイスでは、精製水、脱イオン水、または純水のみを使用してください。ボトル入りの水や水道水は使用に適していません。水中の不純物が蓄積すると、デバイスの通常の動作に影響を与え、修復不可能な損傷を引き起こし、保証が無効になるためです。

### 6.4 輸送、保管、移動

- ◆輸送は機器の損傷のリスクが高いため、最小限に抑えてください。
- ◆移動・保管の際は、元のパッケージを保管してご使用ください。
- ◆他の治療室に移動する場合は、移動する際に機器を水平に保ってください。
- ◆保管・使用の際は、衝撃、衝突、圧迫、振動などにご注意ください。また、使用するたびに機械をリセットし、防塵保管する必要があります。
- ◆長距離輸送の前に、水タンク内の冷却水を排出してください。移動または保管するときは、元のパッケージを保管して使用してください。必要な場合を除いて、デバイスを動かさないでください。
- ◆機械の湿気の凝縮を避けてください。機械の安全性と耐用年数を確保してください。
- ◆220V/110V、2000Wの電圧安定器を取り付けて、電圧の不安定性とパルス干渉が機械に損傷を与えないようにする必要があります。
- ◆機械を始動する前に、空冷および水冷システムが正常に機能していることを確認してください。
- ◆本機は20°C以上の温度の部屋に置き、6時間以上保管してからご使用ください。

## 6.5トラブルシューティングガイド

このセクションでは、マシンの最も基本的なトラブルシューティング手順の概要を説明します。

### 6.5.1マシンが起動しない

◆電源に電気が入っていること、取り付けプラグが両端にしっかりと差し込まれていること、ソケットのスイッチが入っていることを確認してください。

- ◆非常停止ボタンが元の位置に戻っていることを確認します。
- ◆キースイッチが正しい位置にあります。
- ◆ヒューズを点検し、必要に応じて交換します。

### 6.5.2機械を始動したときの水循環が異常である

- ◆水位を確認します。適切に循環するのに十分な水が内部にない場合は、自動的にシャットダウンします。
- ◆指示に従って内部の冷却水を交換します。

### 6.5.3ボタンを押してもビーム出力はありません

- ◆本機が正しい動作状態にあることを確認してください。
- ◆ケーブルと接続プラグに損傷がないか確認してください。損傷している部品がある場合は、交換についてお問い合わせください。
- ◆READYボタンが押されていることを確認してください。

### 6.5.4エネルギーが弱くなる、または光が出ない

- ◆照射口に不純物が付着すると光が遮られます。色素沈着、汚れ、ほこりなどがある場合は指示通りに清掃を行なってください。
- ◆機械が過熱した場合は、作業を停止し、30分間は機械を使用しないでください。
- ◆光学レンズに損傷がないか調べます。

### 6.5.5機械に触れると感電する恐れがあります

- ◆3つのアースプラグを使用し、正しく接続する必要があります。
- ◆電圧が不安定なため、電圧安定器を取り付ける必要があります。

### 6.5.6予熱キーを押しても作動音はありません。

- ◆室内温度が低すぎる場合は、エアコンなどで適切な室内温度にしてください。
- ◆ファンが壊れている、またはファンが他の部品と摩擦している。新しいファンに交換する、あるいは摩擦物を取り除きます。
- ◆室内の湿度が高すぎるので、部屋を乾燥させてください。

# お問い合わせ

株式会社JENIMO

住所：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-18-11

電話番号：03-4446-7897